

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 2 週 (1 月 10 日~1 月 16 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所 : 健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **6.37 人** (先週は 2.40 人) と増加しました。地域的には、加東、中播磨、朝来の各保健所管内が注意報レベルである定点あたり 10 人以上となっています。最近 2 週間の患者の年齢分布は、5 歳未満 20%、5~9 歳 22%、10 歳代 17%、20 歳代 16%、30 歳代 11%、40 歳以上 13%となっています。

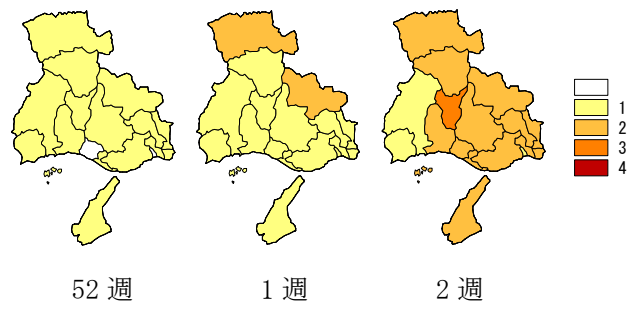
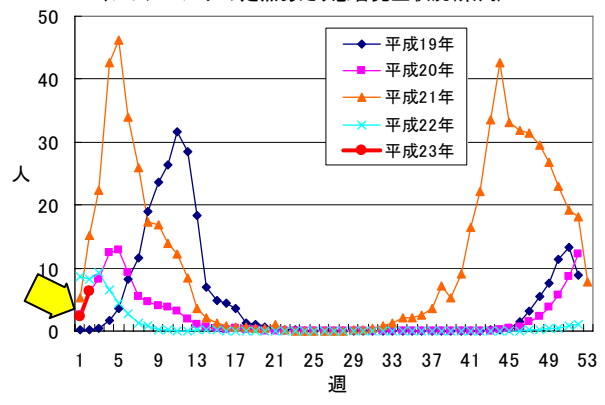
全国的には北海道、千葉県、大阪府などの 10 道府県に警報レベル (定点あたり 30 人以上) の保健所があり、これ以外の 37 都府県中 31 都府県に注意報レベルの保健所があります。

兵庫県立健康生活科学研究所 : 健康生活科学研究センターでは、今シーズン、これまでに 53 検体のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は、新型インフルエンザ (AH1pdm) 47 件 (89%)、A 香港型 (AH3 亜型) 4 件 (8%)、B 型 2 件 (4%) です。特に、今年に入って検出したインフルエンザウイルスは 42 件ですが、その全てが新型インフルエンザ (AH1pdm) でした。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスも、第 49 週以降新型インフルエンザ (AH1pdm) が増加し、A 香港型 (AH3 亜型) の検出報告数を上回っています。

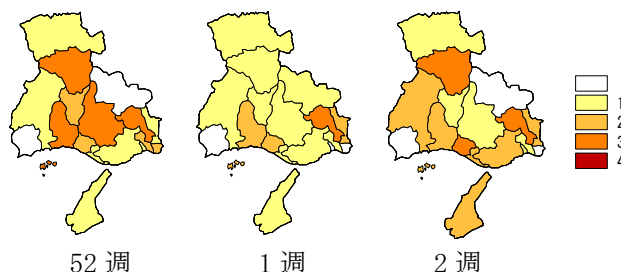
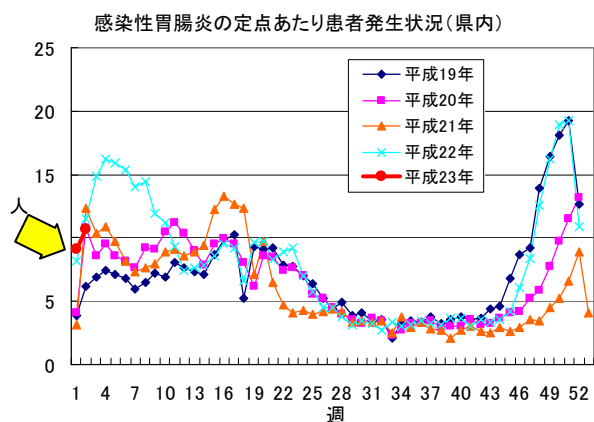
インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **10.66 人**（先週は 9.13 人）と増加しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



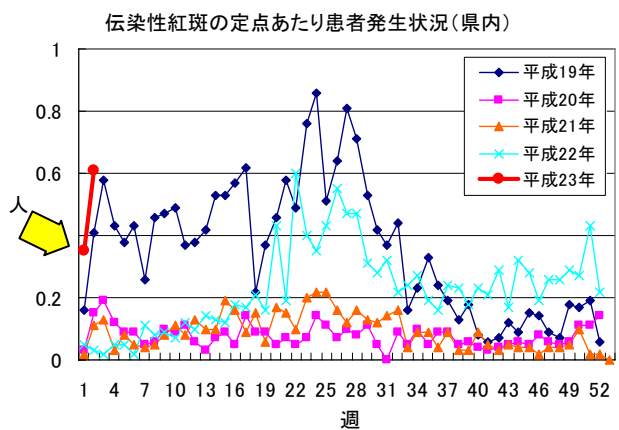
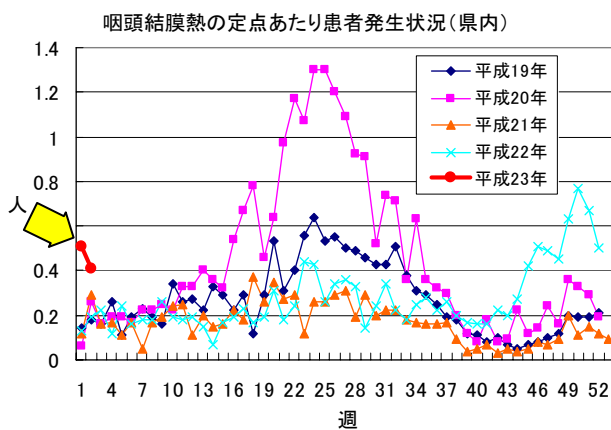
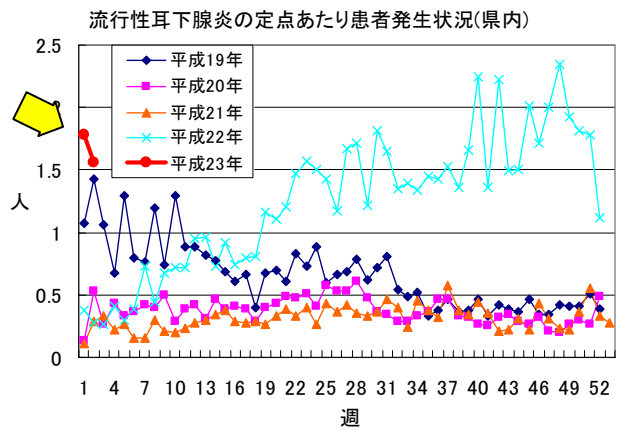
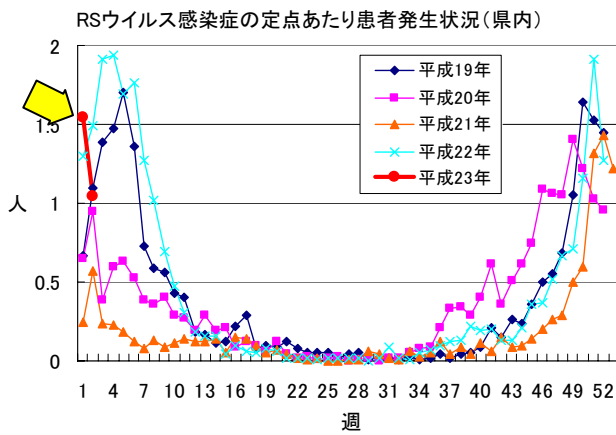
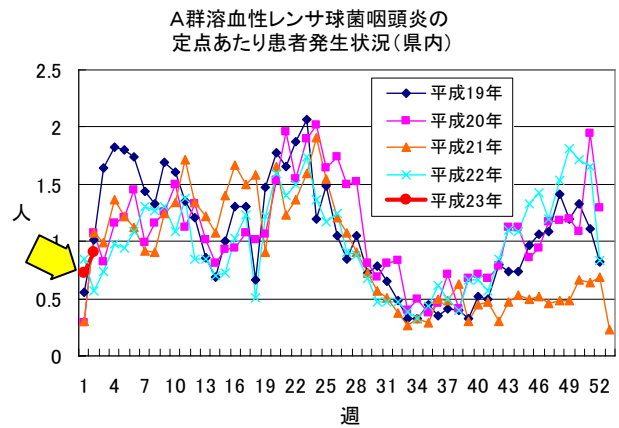
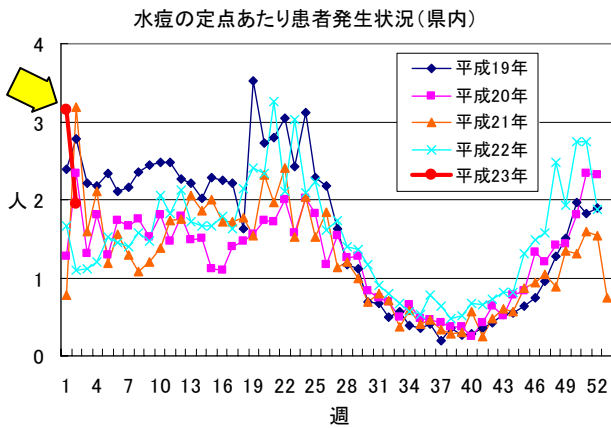
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	10.66	9.13	+1.53	6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	0.73	+0.17
2位	インフルエンザ	6.37	2.40	+3.97	7位	伝染性紅斑	0.61	0.35	+0.26
3位	水痘	1.95	3.15	-1.20	8位	突発性発しん	0.43	0.29	+0.14
4位	流行性耳下腺炎	1.56	1.78	-0.22	9位	咽頭結膜熱	0.41	0.51	-0.10
5位	RSウイルス感染症	1.04	1.54	-0.50	10位	流行性角結膜炎	0.40	0.69	-0.29

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 14 名 （神戸市 8 名、尼崎市 1 名、姫路市 1 名、西宮市 1 名、明石保健所管内 3 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 名 （有症者 0 名） （洲本保健所管内；O26 VT1+ 女性 6 歳 1 名）（累積報告数 1 名；有症者 0 名、うち HUS 0 名）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 名 （神戸市；女性 20 歳代 感染地域；国内）、 後天性免疫不全症候群 2 名 （無症候）（感染地域；不明 1 名、国内 1 名）（感染経路；不明 1 名、同性間性的接触 1 名）
追加報告	結核 5 名 （尼崎市 1 名、姫路市 1 名、加古川保健所管内 2 名、朝来保健所管内 1 名）、 レジオネラ症 1 名 （加東保健所管内；肺炎型 女性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；水系感染）、 ウイルス性肝炎 2 名 （西宮市；B 型 女性 50 歳代 感染地域；国内、感染経路；異性間性的接触、男性 40 歳代 感染地域；国内、感染経路；異性間性的接触）、 梅毒 1 名 （伊丹保健所管内；晩期顕症梅毒 男性 40 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；同性間性的接触）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。